

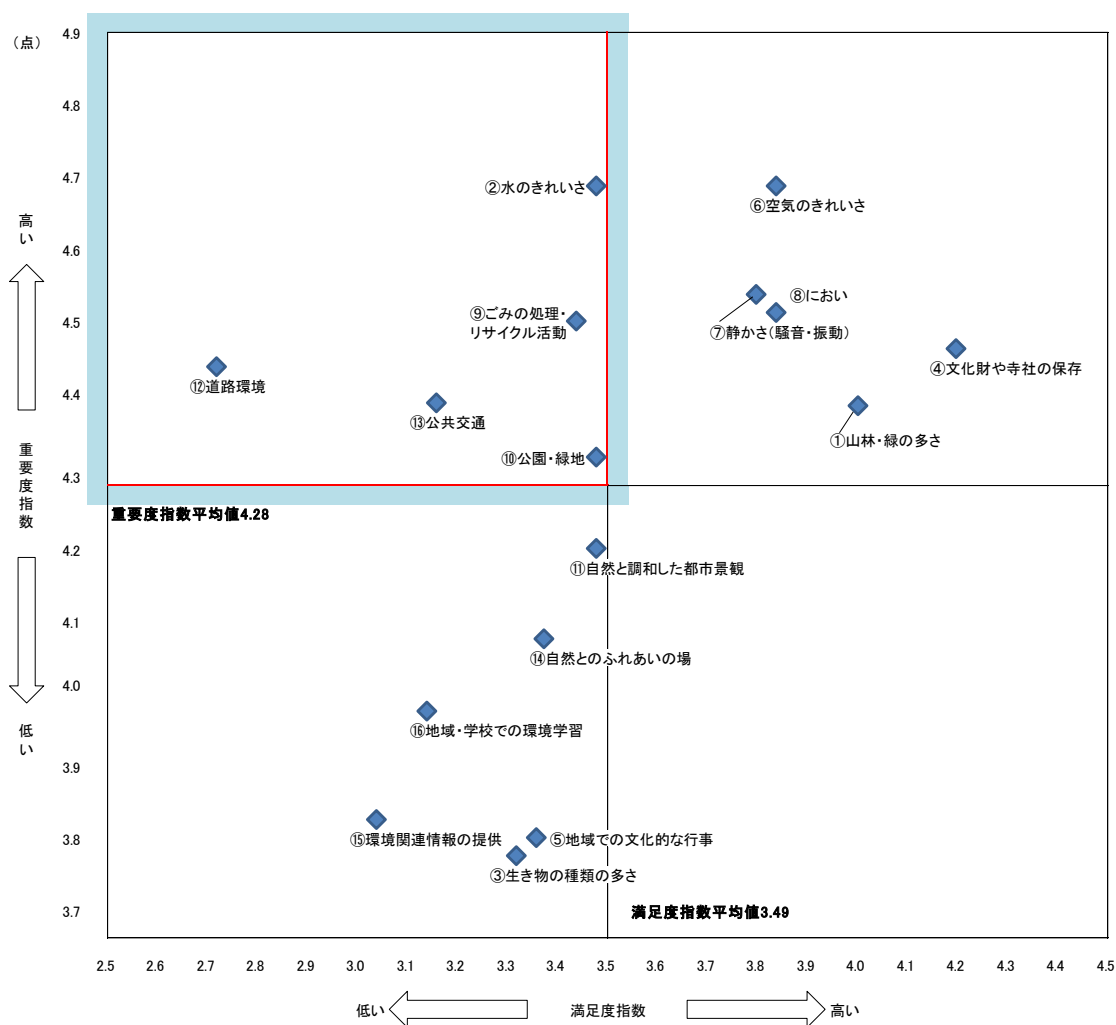
第3章 5年間で市民、事業所意識の変化

3-1 奈良市の環境に対する満足度と重要度について

(1) 市民アンケート調査の結果

■満足度が高いのは「④文化財や寺社の保存」「①山林・緑の多さ」「⑧におい」など、満足度が低いのは「⑮環境関連情報の提供」「⑯地域・学校での環境学習」「⑫道路環境」などとなっています。

■重要度が高いのは、「②水のきれいさ」「⑥空気のきれいさ」「⑦静かさ（騒音・振動）」などとなっています。

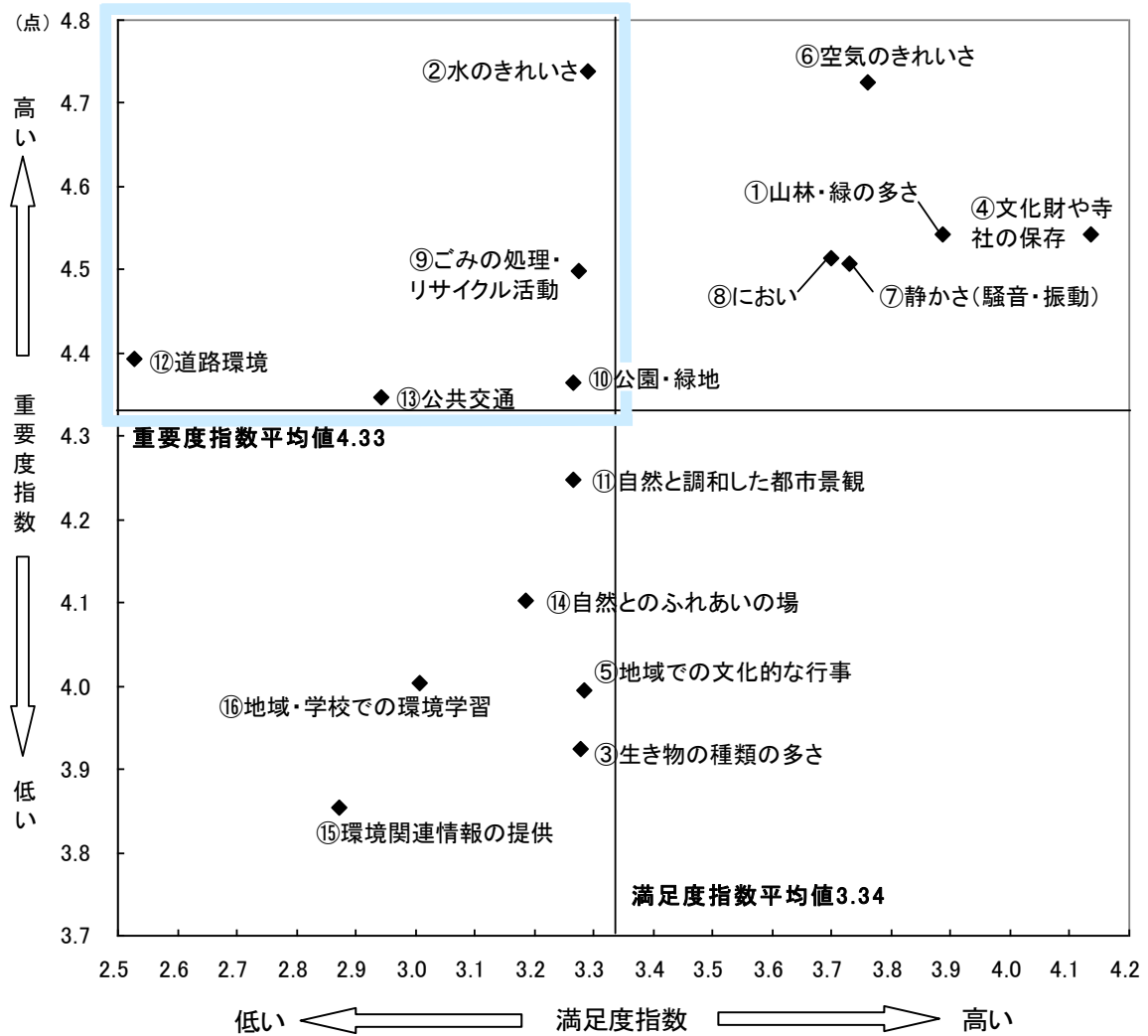


満足度指数^{※1}が平均値 (3.49) を下回り、重要度指数^{※2}が平均値 (4.28) を上回る象限に該当する項目が「今後、積極的に対応を図るべき取組」と考えられます。

該当する項目は、前回調査の結果と同じ項目です。

※1 満足度指数と※2 重要度指数：アンケート回答者の満足度と重要度の評価をそれぞれ得点化（今回は5点満点）し、加重平均して算出した値。

前回調査の結果（平成 22 年度実施）



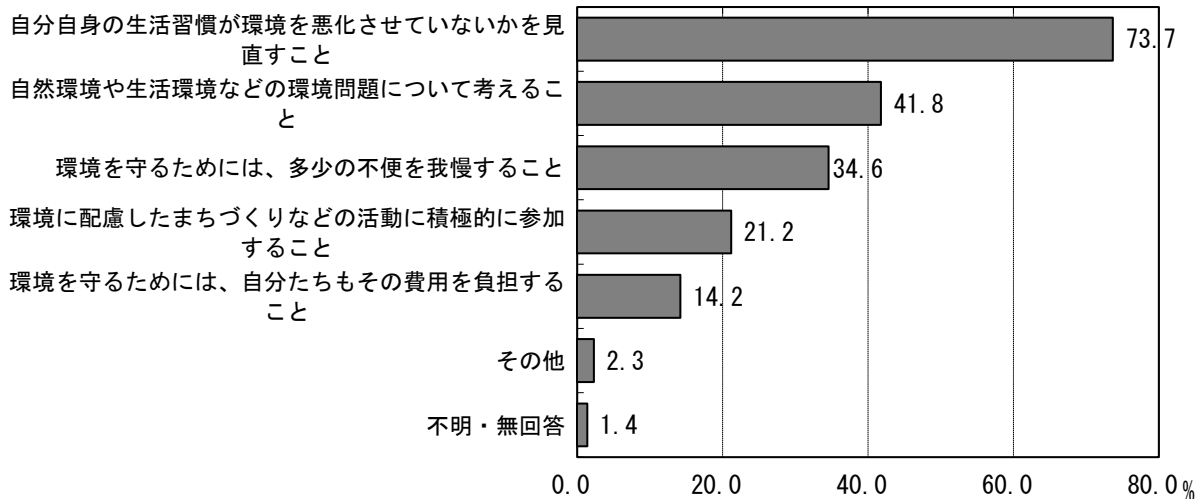
満足度指数の平均値 (3.34)、重要度指数の平均値 (4.33)

3-2 環境保全に対する今後の取組について

(1) 市民アンケート調査の結果

今後、環境をよりよくするために、「市民」が取り組まなければならないと思うこと（3つまで）

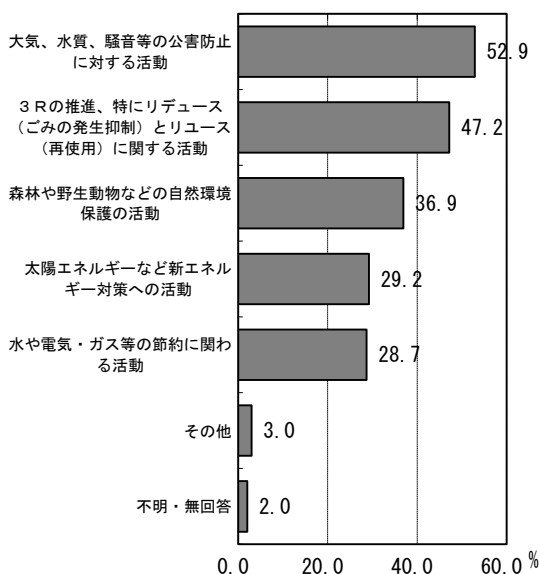
(MA) N = 739



前回調査の結果と同じく「自分自身の生活習慣が環境を悪化させていないかを見直すこと」が73.7%と最も多い。

今後、環境をよりよくするために「市民団体・NPO*等」に取り組んでほしいと思うこと（3つまで）

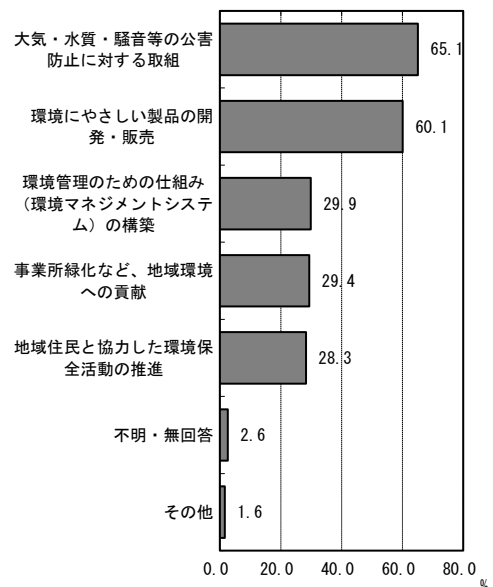
(MA) N = 739



前回調査の結果と同じく、「大気、水質、騒音等の公害防止に対する活動」と「3R*の推進、特にリデュース（ごみの発生抑制）とリユース（再使用）に関する活動」が多く約50%を占めている。

今後、環境をよりよくするために「企業や事業者」に期待すること（3つまで）

(MA) N = 739

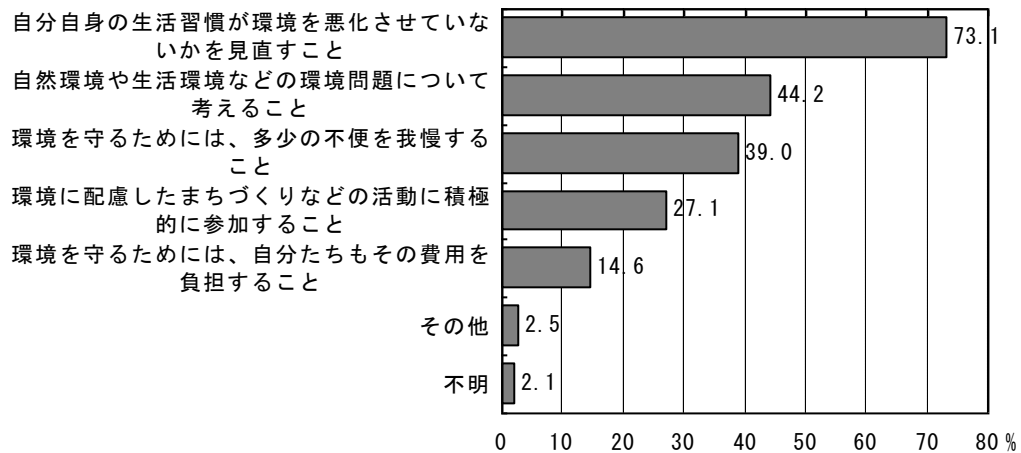


前回調査の結果と同じく、「大気・水質・騒音等の公害防止に対する取組」と「環境にやさしい製品の開発・販売」が多く60%を超えている。

前回調査の結果（平成 22 年度実施）

今後、環境をよりよくするために、「市民」が取り組まなければならないと思うこと（3つまで回答）

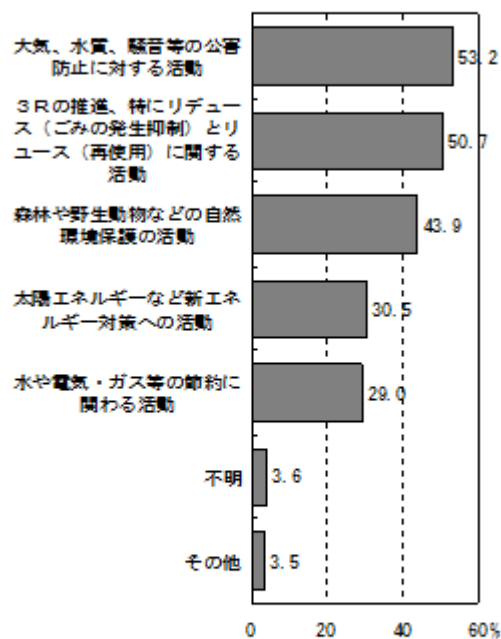
(MA) N = 962



● 「自分自身の生活習慣が環境を悪化させていないかを見直すこと」が 73.1% で最も多い。

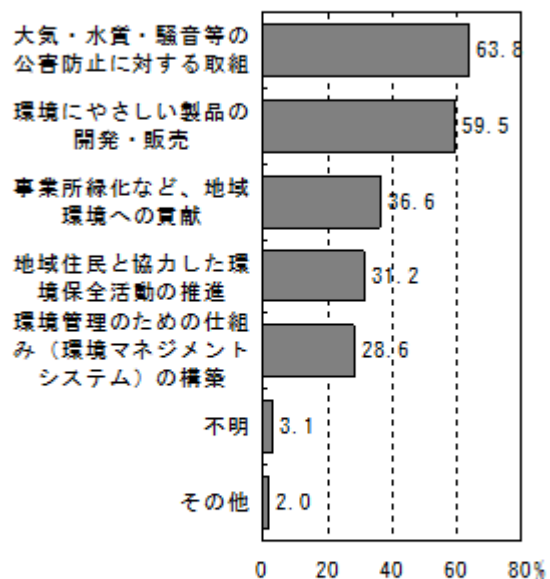
今後、環境をよりよくするために「市民団体・NPO等」に取り組んでほしいと思うこと（3つまで回答）

(MA) N = 962



今後、環境をよりよくするために「企業や事業者」に期待すること（3つまで回答）

(MA) N = 962

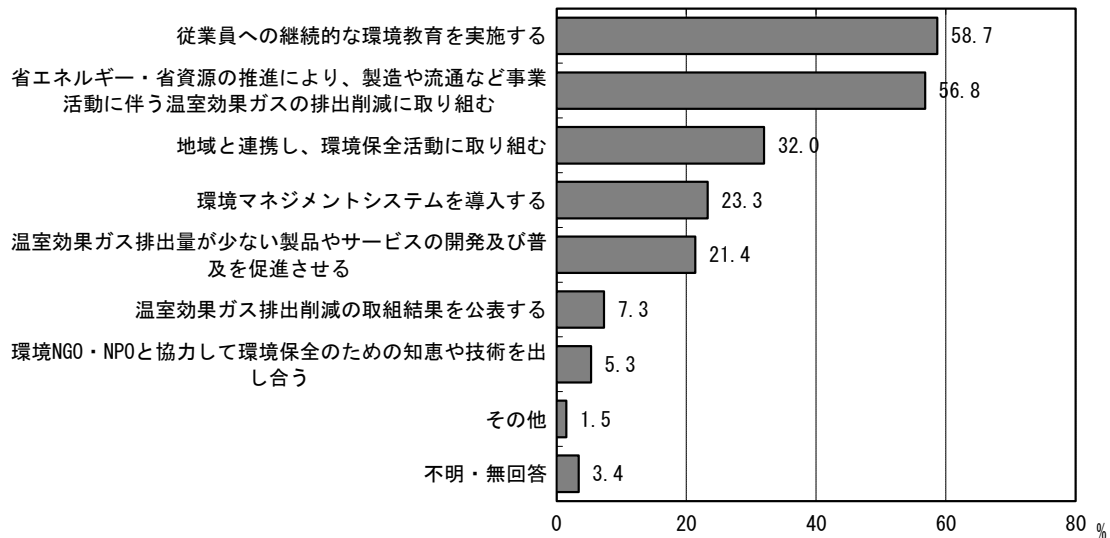


● 「市民団体・NPO等」に取り組んでほしいと思うことでは「大気、水質、騒音等の公害防止に対する活動」「3Rの推進、特にリデュース（ごみの発生抑制）とリユース（再使用）に関する活動」が多く、50%を超えている。
 ● 「企業や事業者」に期待することでは「大気、水質、騒音等の公害防止に対する取組」「環境にやさしい製品の開発・販売」が多く、50%を超えている。

(2) 事業所アンケート調査の結果

環境保全のために企業が出来る取組（3つまで）

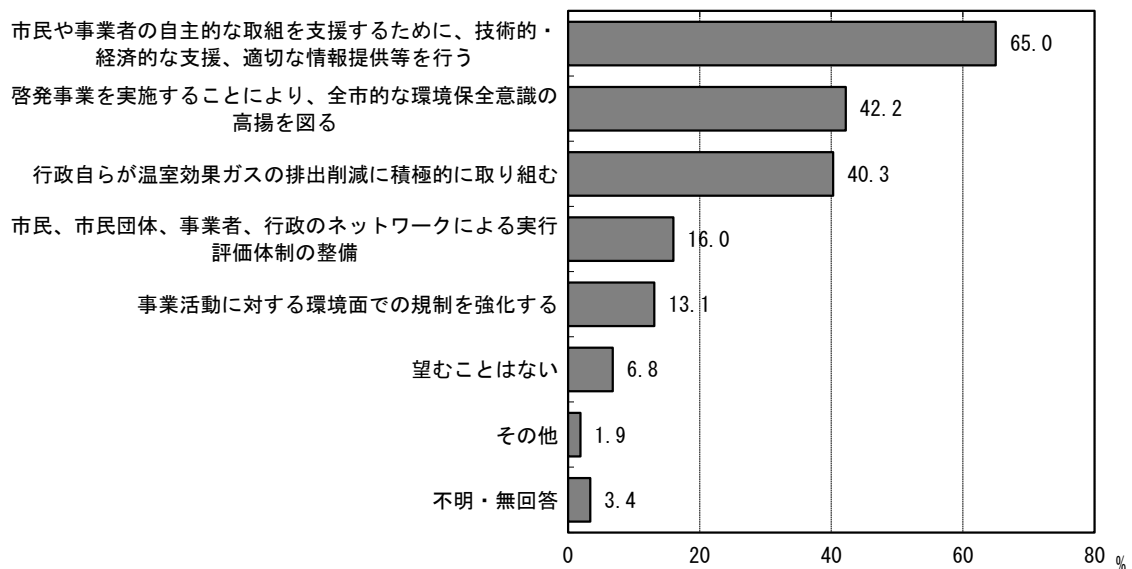
(MA) N = 206



「環境保全のために企業が出来る取組」は、「従業員への継続的な環境教育を実施する」、「省エネルギー・省資源の推進により、製造や流通など事業活動に伴う温室効果ガスの排出削減に取り組む」が多い。

環境保全について市（行政）に望むこと（3つまで）

(MA) N = 206

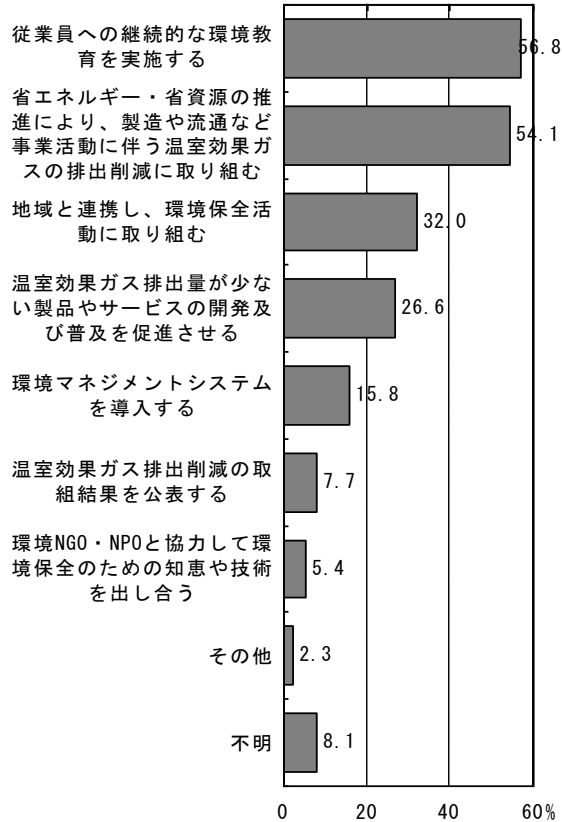


「環境保全について市（行政）に望むこと」は、「市民や事業者の自主的な取組を支援するために、技術的・経済的な支援、適切な情報提供等を行う」、「啓発事業を実施することにより、全市的な環境保全意識の高揚を図る」、「行政自らが温室効果ガスの排出削減に積極的に取り組む」が多い。

前回調査の結果（平成 22 年度実施）

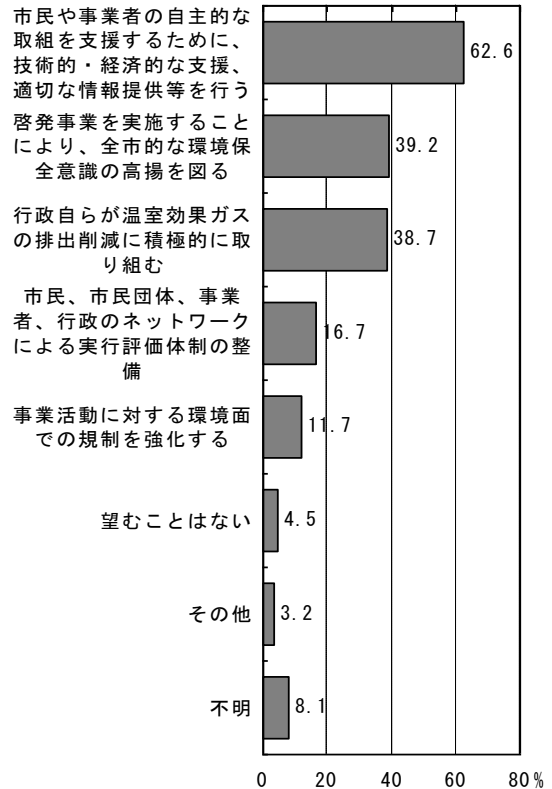
環境保全のために企業ができる取組

(MA) N = 222



環境保全について市(行政)に望むこと

(MA) N = 222



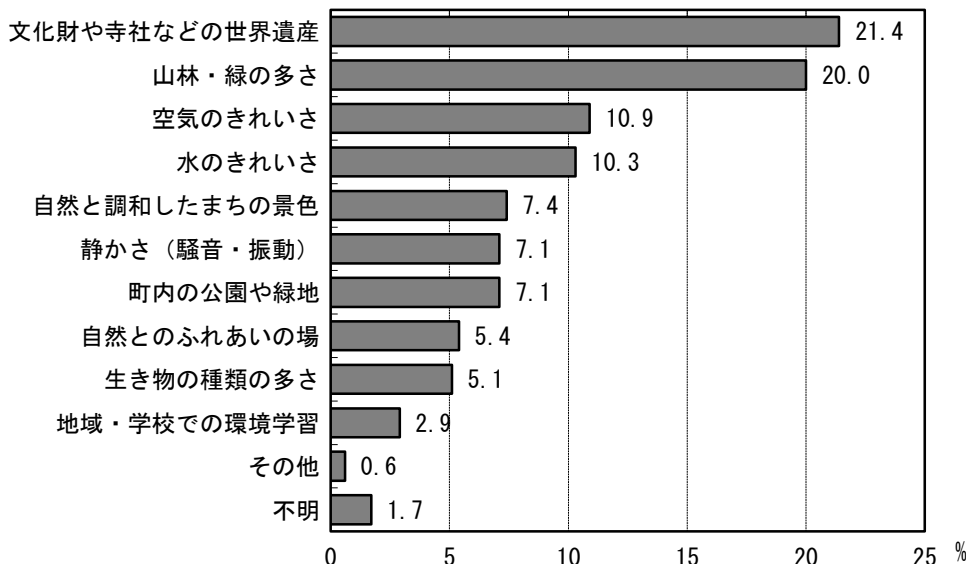
- 「環境保全のために企業ができる取組」は、「従業員への継続的な環境教育を実施」と「省エネルギー・省資源の推進により、製造や流通など事業活動に伴う温室効果ガスの排出削減」が多い。
- 「環境保全対策について市(行政)に望むこと」は、「市民や事業者の自主的な取組を支援するための技術的・経済的な支援、適切な情報提供等」が最も多い。

3-3 中学生アンケート調査の結果

(1) 奈良市の環境で好きなところ

「文化財や寺社などの世界遺産」が21.4%と最も多く、次いで「山林・緑の多さ」が20.0%となっている。

(MA) N = 350

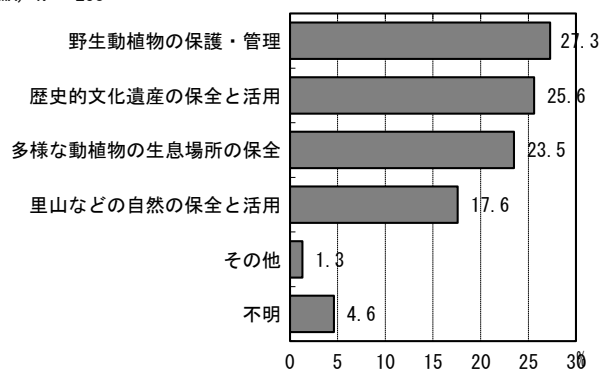


(2) 環境教育において学習したい分野について

【自然・歴史】の分野では、「野生動植物の保護・管理」が最も多く27.3%、【生活・都市環境・資源循環】の分野では、「公園や街路にある緑地の保全と役割」が最も多く30.2%、【地球温暖化対策】の分野では、「二酸化炭素*吸収源としての植林や緑化の効果」が最も多く44.9%となっている。

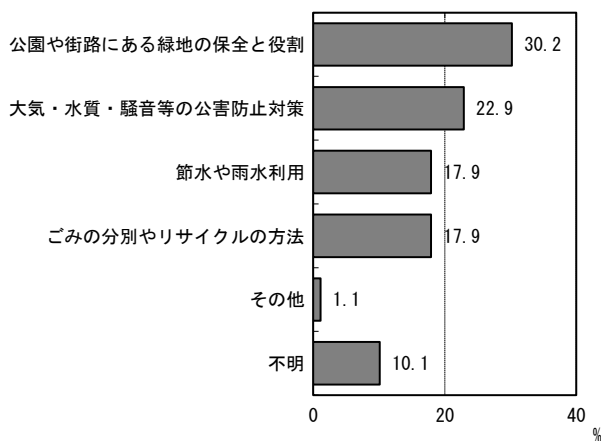
(MA) N = 238

【自然・歴史】



【生活・都市環境・資源循環】

(MA) N = 179



【地球温暖化対策】

(MA) N = 158

